

殺虫剤

オリオン®水和剤40

アラニカルブ…………… 40.0%

種類名／アラニカルブ水和剤
農林水産省登録／第18504号
(OATアグリオ登録)
毒性／劇物
有効年限／3年
包装／500g×20

特 長

- 害虫に対し、強力な接触毒・食毒の両作用があります。
- アブラムシ類、コナカイガラムシ類およびチョウ目害虫など広範囲の害虫に効果があります。
- 合成ピレスロイド剤、有機リン剤やジアミド剤抵抗性害虫にも高い効果があります。
- 果樹・野菜・花など幅広い作物に使用できます。

適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモグリガ カイガラムシ類 ケムシ類 アザミウマ類 ケシキスイ類 コアオハナムグリ コマダラカミキリ ハマキムシ類 アゲハ類 ヨモギエダシャク カネタタキ ミカンパエ成虫 クワノミハムシ ナメクジ類	40倍 1000倍	16~20ℓ 200~700ℓ	収穫14日前まで	3回	無人航空機 散布
りんご	アブラムシ類 シンクイムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ ハマキムシ類 オオタバコガ カイガラムシ類	1000~ 1500倍	200~700ℓ	収穫前日まで	2回	散布
	ケムシ類					
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ケムシ類 カイガラムシ類	1000倍		収穫3日前まで		
もも	クビアカツヤカミキリ			成虫発生期 但し、 収穫14日前まで		
	アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ カイガラムシ類 ケムシ類			収穫14日前まで		
ネクタリン	クビアカツヤカミキリ			収穫21日前まで		
	クビアカツヤカミキリ			成虫発生期 但し、 収穫21日前まで		

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当たり 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法	
ぶ ど う	アザミウマ類 チャノコカクモンハマキ カイガラムシ類 ケムシ類	1000倍	200～700 ℥	収穫4日前まで	1回	散布	
か さ き	アザミウマ類 イラガ類 カイガラムシ類 カキノヘタムシガ ハスモンヨトウ カキノヒメヨコバイ ケムシ類 ハマキムシ類			収穫21日前まで			
小粒核果類 (うめを除く)	アブラムシ類 ケムシ類			収穫7日前まで	3回		
う め	クビアカツヤカミキリ		100～300 ℥	成虫発生期 但し、 収穫7日前まで			
び わ	アブラムシ類 ピワキジラミ			収穫7日前まで			
ばれいしょ	ワタアブラムシ		100～300 ℥	収穫前日まで	5回		
かんしょ	イモコガ ナカジロシタバ ハスモンヨトウ			収穫7日前まで			
メ 口 ン	アブラムシ類 ウリノメイガ			収穫14日前まで			
キ ャ ベ ツ	アオムシ ヨトウムシ タマナギンウワバ アブラムシ類	1000～ 1500倍	200～400 ℥	摘採14日前まで	3回		
てんさい	ヨトウムシ テンサイトビハムシ	750倍	100～300 ℥	発生初期	5回		
茶	チャノコカクモンハマキ	1000倍					
き く	アブラムシ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ	200～700 ℥					
さくら	ケムシ類 クビアカツヤカミキリ	1000倍	200～700 ℥	成虫発生期	5回		

使用にあたって

■使用上の注意

- 本剤を使用した場合には、メソミルを含む剤は使用しないでください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤を所定量の水にうすめ、十分かき混ぜてから散布してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機(無人ヘリコプター等)散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 茶のチャノコカクモンハマキの防除に使用する場合、巻葉後の散布は効果が劣る場合があるので、発蛾最盛期に散布してください。

- ミカンキイロアザミウマの防除に使用する場合、生息密度が高まると効果が劣るので、初発を見たら直ちに散布してください。なお、ミカンキイロアザミウマは繁殖が速いので、散布はかけ残しがないようていねいに行ってください。
- クビアカツヤカミキリの防除に使用する場合、成虫に直接かかるように散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。

-  ●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
①ミツバチの巣箱およびその周辺にかかるないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。

- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさせてください。
- ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当っては、用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■混用・薬害

- 混用に問題のある薬剤があるので、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。
- りんごに使用する場合は、落果のおそれがあるので、開花後1ヶ月間は散布をさせてください。
- ぶどうの無袋栽培で使用する場合、果房に汚れが生じるので、果実肥大中期以降の散布はさせてください。

■蚕毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 医薬用外劇物ですので、取扱いには十分注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤による中毒に対しては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分水洗し、眼科医の手当てを受けてください。

-    ●散布液調製時および散布の際は保護メガネ、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄張いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 鍵のかかる場所に保管してください。

■貯蔵上の注意

-  ●密封し、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。